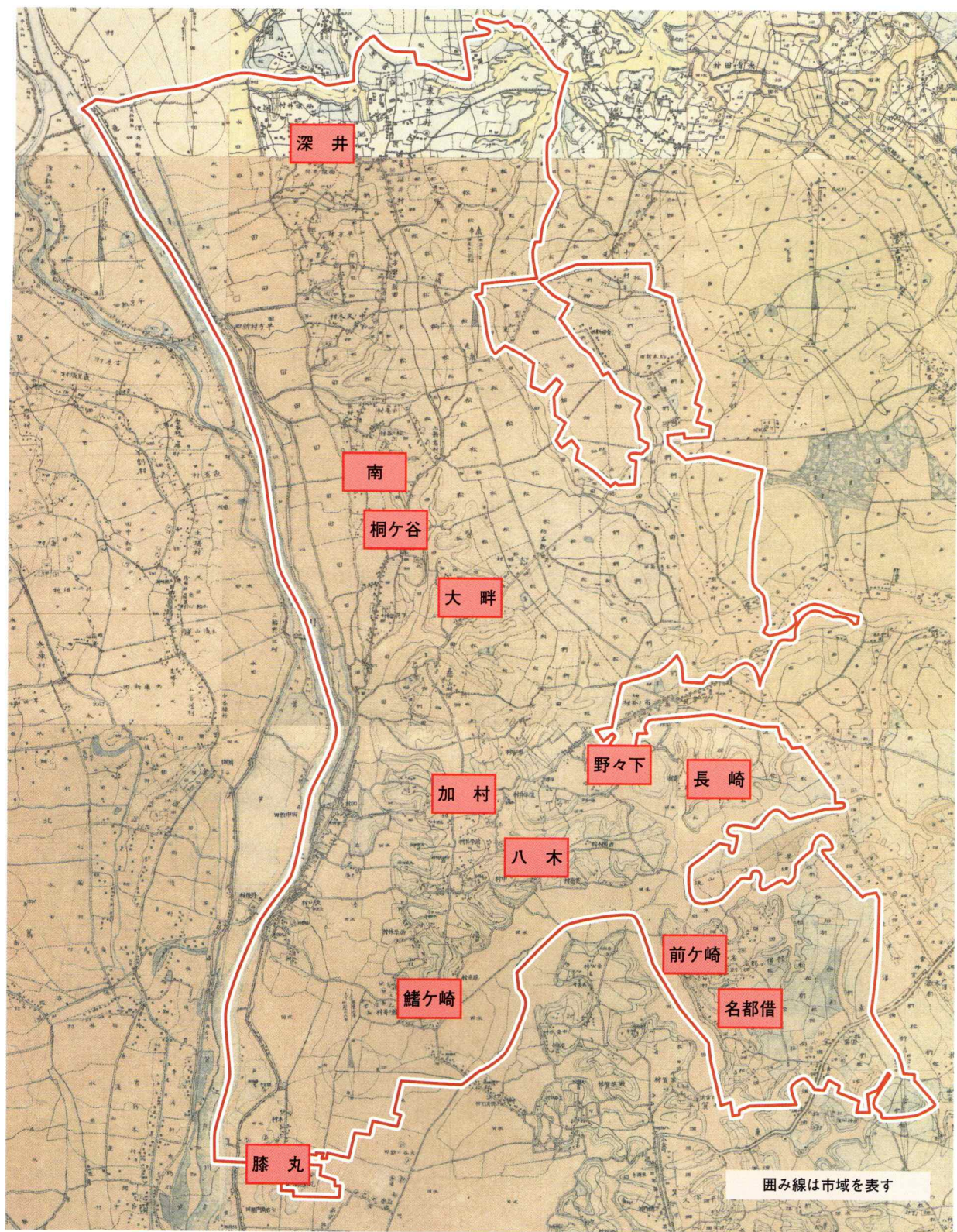




『本土寺過去帳』に見える中世の地名

おおむね下総台地の谷津が入り組んだ地域に、集落が形成されていたことがわかる。市域東側の地名が見えないのは、江戸時代に小金牧に置かれたように、森林や原野が多くを占めていたためと推測される。

〔地図：明治前期測量2万分之1フランス式彩色地図〕